



だれもが大切にされる学校 令和5年度 第10号R6.2.16



文責:佐藤

HPはこちらから



大庭小学校だより

子どもの名前・就学援助・特別支援教育

2月1日に入学説明会と一日入学を行いました。一日入学は、今年初めてでしたが、新1年生と現2年生と一緒に授業を受けるという形で交流を行いました。2年生は張り切り、1年生はちょっと緊張の1時間でした。

入学説明会は、ゆっくり大庭小学校の目指す教育についてお話する機会ですので、昨年同様、次のことを校長からお伝えしました。(1月31日のHPや今年の学校だより2月号に掲載)

- ①教育と子育ては子どもの自立を目指す。そのために自律＝セルフコントロールと自己決定を大切に、自分の人生をたくましく生きる子を育てる。
- ②わが子だけが幸せにはなれない。大庭小学校にかかわるすべての人が幸せでこそその我が子の幸せ。
- ③安全基地としての家庭の役割。早寝・早起き・朝ごはんを学校に送り出してください。

その後、学校から様々な説明をしたのですが、その中から3つ特に補足しておきたいことがありました。在学の皆様、地域の皆様にもぜひお知らせしたく、以下に記します。

1年生と地域の方
の昔遊びの交流



子どもの名前は願い事

小学校では個人持ちのものがたくさんになります。同じものを持っているので、名前を書いていたかかないと子どもには区別が付きません。最近はシールが多いですね。この名前書き(貼り)、大変だと思いますが、こう考えてはどうでしょう。

皆さんがお子さんに名前を付けたときに、こんな風に育ててほしいという願いを名前に込められたのではないのでしょうか？その願いを何度も何度も唱える機会・・・そう考えると、大変な作業が尊いことに思えてきます。無事入学できることは決して当たり前ではないはず。家族みんなで名前書き(貼り)というお話を聞いたこともあります。これもいいですね。大庭小の子どもたちにも大事な名前を丁寧に呼び合ってほしいと願います。

就学援助は子どものため(1月11日のHPに詳しく書いています)

就学援助制度というのは、学校教育法第19条において、「経済的理由によって、就学困難と認められる学齢児童生徒の保護者に対しては、市町村は、必要な援助を与えなければならない」とされており、保護者の経済状況で教育の平等が損なわれないようにする制度です。事務職より、説明しました。私がぜひご確認いただきたいと思ったのは次の点です。

「この制度は、ご家庭そのものへの支援ではなく、義務教育段階の児童生徒のための支援です。したがってお子さんのため、必要でしたら、ぜひ学校もしくは教育委員会までご申請ください。」

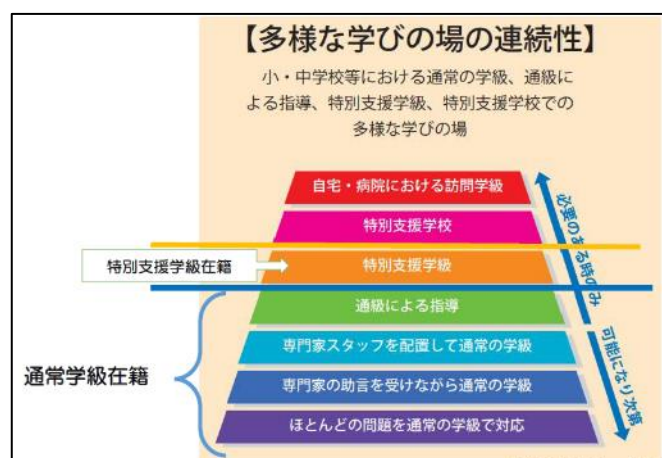
この制度、不思議なことに自治体によって利用率に大きな差があります。令和4年度の全国平均は13.9%ですから、およそ7人に1人が利用していることとなります。一番少ない県が6.98%、一番多い県が25.48%です。島根県は15.21%。3.5倍以上の開きがあり、いくら都道府県によって経済状況や認定基準が違っても大きすぎます。申請が必要なのに控えているというご家庭があるのではと想像してしまいます。

繰り返しますが、この制度はお子さんの教育を受ける権利を保障するためのものです。お子さんのため、必要でしたら、ぜひ学校もしくは教育委員会までご申請ください。将来を担う子どもたちのためにご確認ください。学用品、給食費、郊外活動費、オンライン学習通信費など多岐にわたる支援があります。フードバンク利用のご案内もいたします。

特別支援教育はみんなのため(2023年1月号の学校だよりに詳しく書いています)

特別支援教育コーディネーターから様々な学びの場を説明しています。特別な支援というのは、一人一人に必要な支援(サポート)を届けるということです。パラリンピックで話題となった「WeThe15」のように、人類の15%の人には何らかの障がいがあると言われます。この「障がいがある」という表現は、例えば車いすを使用される方が、エレベーターや交通機関を使えば、行きたいところに行けるように、階段や急な坂道などの障がいは社会の中にあるとする考え方です。この社会の中にある障がいをなくすことは社会(つまり私たち)の責務です。お子さんにとって必要と思われる支援については遠慮なくお申し出ください。社会の中にある障がい(目に見えるものも、目に見えないものも、いわゆる差別といわれるものも)をなくしていくことで、誰もが大切にされる社会、いわゆる共生社会が実現できるのだと考えます。

もしかすると、説明を聞かれながら、うちの子には関係ないかなと思われた方もいらっしゃるかもしれません。が、決してそうではないのです。大庭小学校は「誰もが大切にされる学校」をめざします。そのためには、一人一人が主語として周りの人を大切にすることが必要です。将来の共生社会実現のために、今小さな共生社会をつくるための説明だったのです。



入学説明会や1日入学が保護者や新入学児童にとって、安心の材料となれば、幸いです。この日、2年生が新1年生を迎えると聞いた5年生の子が「いいなあ、ぼくたちもやりたい」とつぶやいたそうです。来年は6年生として1年生を迎える立場、入学式にも参加します。その気持ち、頼もしく思いますよ。

来年度の1年生は3クラスの予定です。年度当初は年齢別の仮クラス編成とします。1年生の4月生まれと3月生まれの差はとても大きく、より年齢の小さい児童が安心して自己発揮できるようにという配慮です。同時に、入学後の様子を丁寧に見取り、最適な学級編成をするためでもあります。入学式は4月9日。きっと、あっという間ですね。